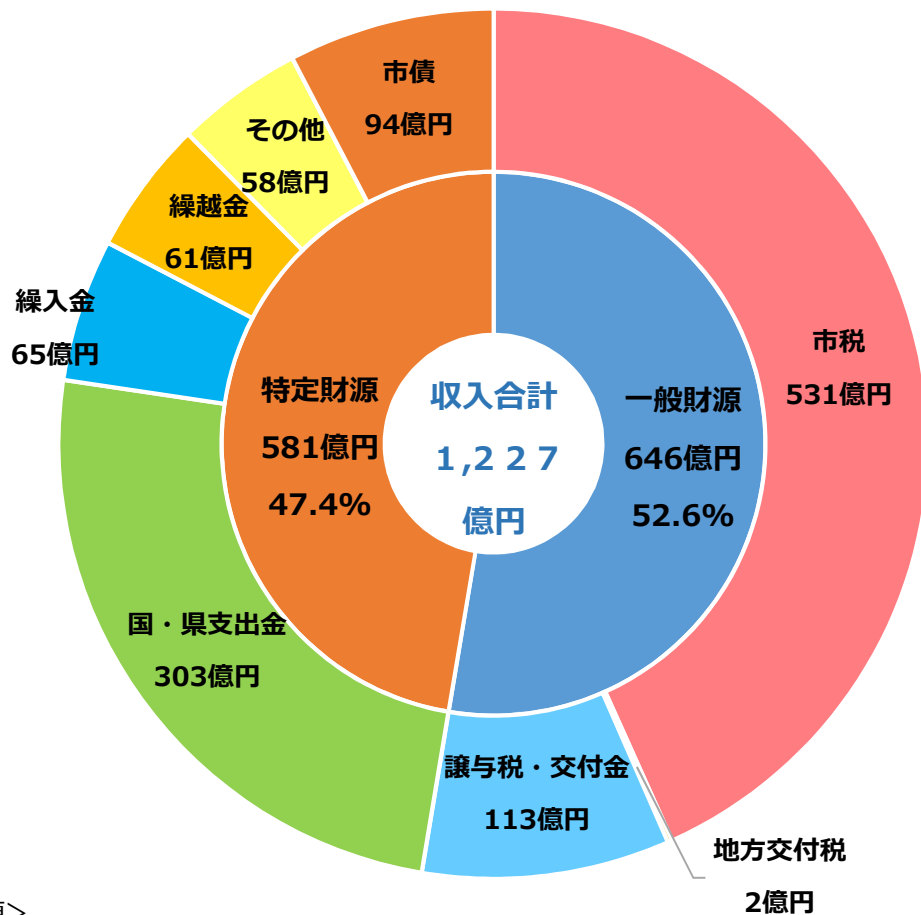


つくば市の 台所事情

令和6年度決算

1	一般会計の収入	..	1
2	一般会計の支出（性質別）	..	2
3	一般会計の支出（目的別）	..	3
4	身近なお金の使い道		
	①「保育所」「幼稚園」	..	4
	②「小・中学校」「学校給食」	..	5
	③「消防・救急」	..	5
	④「ごみの処理」	..	6
	⑤「福祉」「医療」「介護」	..	7
5	借金と貯金の残高	..	8
6	財政健全化の比率	..	9
7	一般会計決算額と税収の推移	..	10
8	特別会計	..	11
9	公営企業会計	..	12

1 一般会計の収入



<一般財源>

- 市税 市内にお住いの個人や市内に事業所がある法人が納める市民税や、市内に土地や家屋などを持っている方から納めていただく固定資産税などのお金
- 地方交付税 地域ごとの格差を解消するため、財源が足りない地方公共団体へ国から交付されるお金
- 譲与税・交付金 国税・県税の一定割合を市町村に配分されるお金

<特定財源>

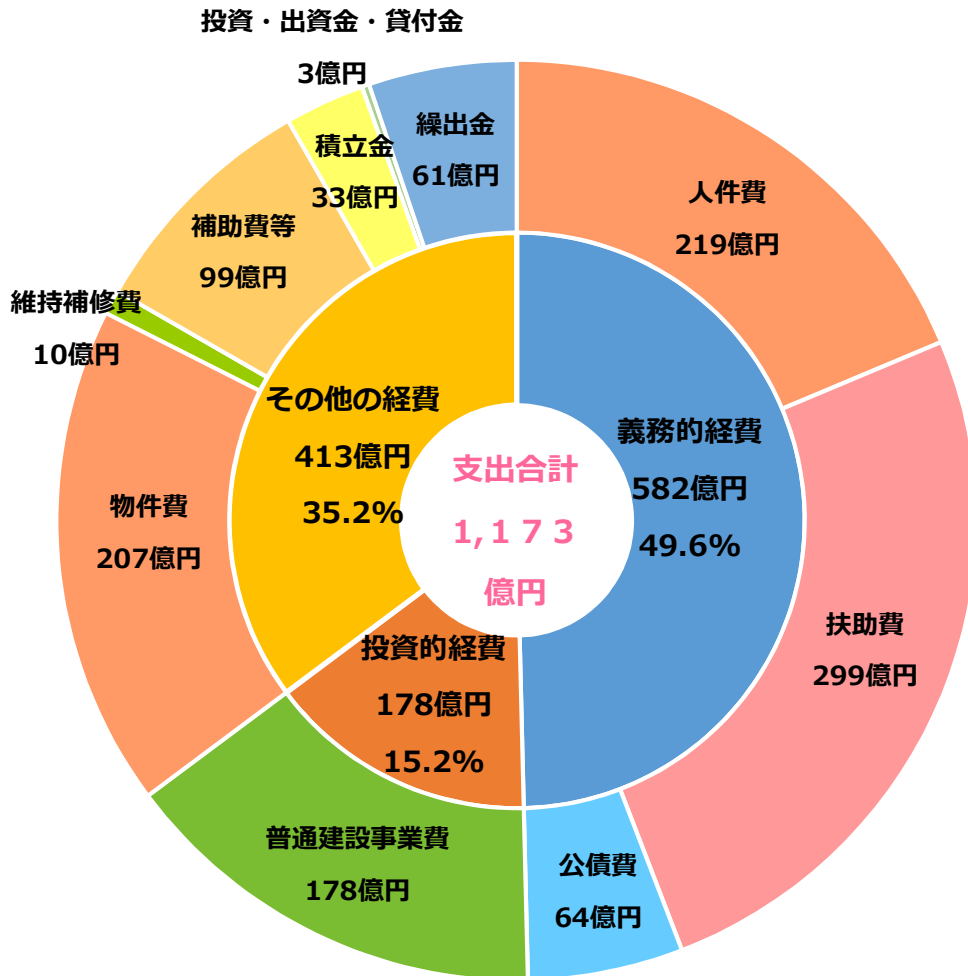
- 国・県支出金 特定の事業に対して、国や県から使い道を指定して交付されるお金
- 繰入金 基金の取り崩しや、特別会計から繰り入れるお金
- 繰越金 前年度の決算で、翌年度に繰り越されたお金
- その他 分担金・負担金や使用料・手数料など
- 市債 学校や市民利用施設、道路や公園など、長い間利用される市の施設を整備するために借り入れるお金

【一般財源、特定財源とは・・・】

一般財源とは、日常的に行われる様々な行政サービスに使われるお金です。例えば、道路や消防署の維持費、福祉や文化・スポーツなどにも使われます。

特定財源とは、使い道があらかじめ決められたお金です。例えば、道路整備のための特定財源は他の目的に使うことができません。

2 一般会計の支出（性質別）



<義務的経費>

人件費	職員の給料や退職金などの費用
扶助費	児童手当、生活保護、保育所・幼稚園などの運営や医療費の援助などの費用
公債費	市債の返済のための費用

<投資的経費>

普通建設事業費	学校や市民利用施設、道路や公園などの整備や改修などに必要な費用
---------	---------------------------------

<その他の経費>

物件費	市民利用施設の運営や市民サービスのほか、庁舎の管理や事務に必要な費用
その他	維持補修費、補助費等、積立金など
繰出金	一般会計から、一定のルールにより特別会計や公営企業会計に支出した費用

【義務的経費とは・・・】

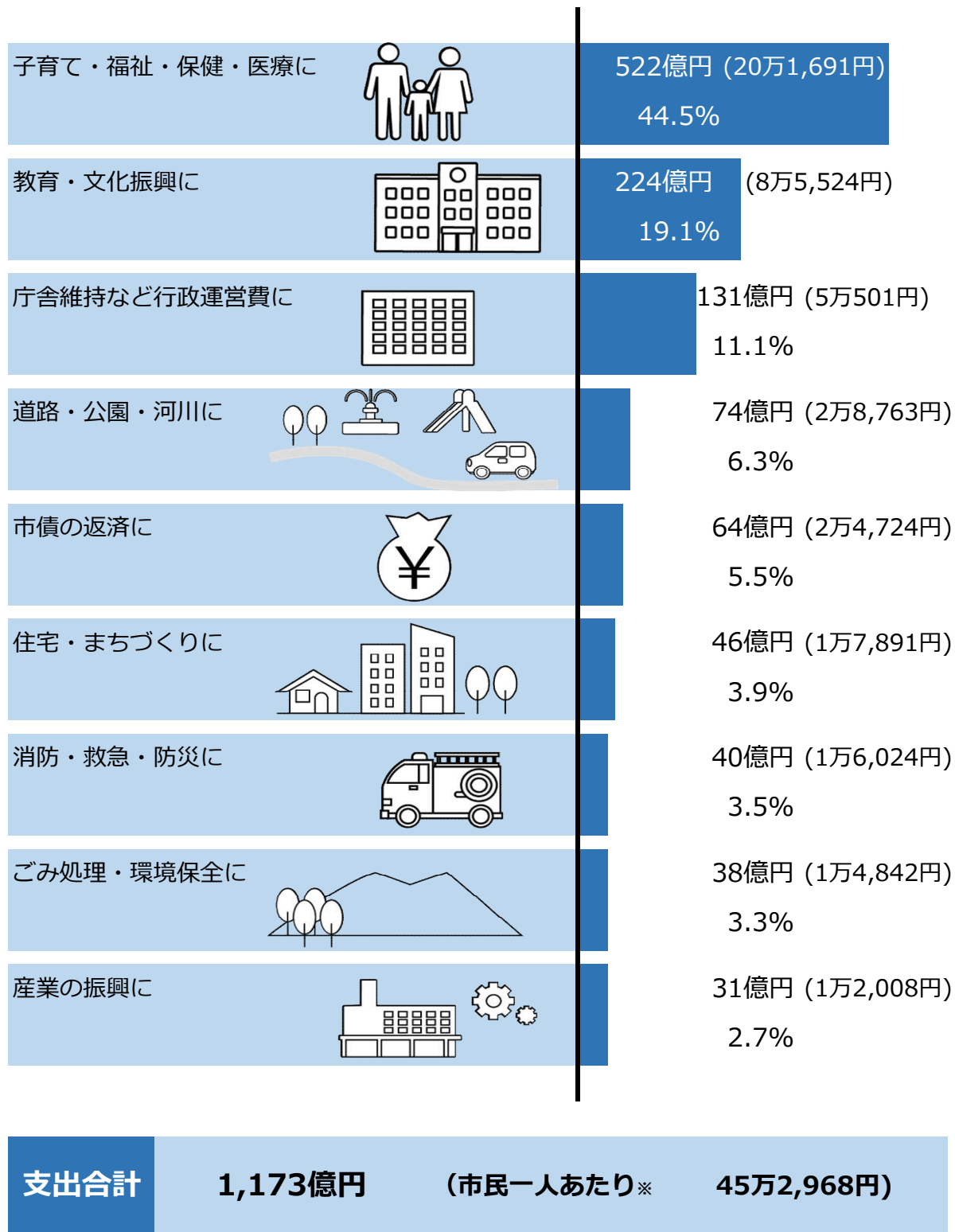
義務的経費とは、法令などで支出が義務付けられている経費です。

つくば市では582億円、支出合計の49.6%を占めています。基本的に義務的経費は増加傾向にあります。特に、民間保育所にかかる経費や医療福祉費支給制度（マル福）など、子育てや社会保障に関連する経費が増加しています。

3 一般会計の支出（目的別）

支出はどのような分野の行政サービスに使われているのか『目的別』からも見ることができます。目的別で見ると、子育て支援や福祉、教育、道路・公園やまちづくりなど幅広い分野に使われています。

中でも、『子育て・福祉・保健・医療』のための割合が大きくなっています。



※令和7年3月31日現在の人口25万8,951人で算出した額)

4 身近なお金の使い道

①「保育所」「幼稚園」

保育所の運営にかかったお金

市の負担とは、国・県支出金や市債等を除いた市税等の一般財源で賄う額です。

	総額	児童一人当たり (1,645人)	【うち市の負担】
公立保育所	37億2,212万円	2,262,687円	2,009,994円

	総額	児童一人当たり (7,000人)	【うち市の負担】
民間保育所	127億7,801万円	1,825,430円	503,116円

「保育所の運営」に、公立保育所で約37億円、民間保育所で約128億円かかりました。「児童一人当たりの支出」で見ると、公立保育所で約226万円、民間保育所で約183万円になります。（うち一般財源で賄う市負担分は、公立保育所で約201万円、民間保育所で約50万円になります。）

この他、認可外保育施設を利用する保護者の経済的負担を軽減するため、利用料の一部を給付し、約1億円かかりました。

幼稚園の運営にかかったお金

	総額	園児一人当たり (547人)	【うち市の負担】
公立幼稚園	9億9,576万円	1,820,402円	1,634,534円

	総額	園児一人当たり (1,442人)	【うち市の負担】
民間幼稚園	10億7,264万円	744,028円	235,935円

「幼稚園の運営」に、公立幼稚園で約10億円、民間幼稚園で約11億円かかりました。「園児一人当たりの支出」で見ると、公立幼稚園で約182万円、民間幼稚園で約74万円になります。（うち一般財源で賄う市負担分は、公立幼稚園で約163万円、民間幼稚園で約24万円になります。）

この他、私立幼稚園に園児を就園させている保護者の経済的負担を軽減するため、利用料の一部を給付し、約2億円かかりました。

② 「小・中学校」 「学校給食」

小・中学校の運営にかかったお金

	総額	児童生徒一人当たり (22,954人)	【うち市の負担】
就学援助費	2億3,184万円	10,100円	9,818円
教材購入費	1億4,062万円	6,126円	5,526円
維持管理費	21億1,513万円	92,146円	62,146円
建設費	50億8,263万円	221,427円	51,731円
その他	3,160万円	1,222円	844円
合計	76億181万円	331,176円	160,065円

「小・中学校の運営」に、約76億円かかりました。
「児童生徒一人当たりの支出」でみると、約33万円になります。

学校給食にかかったお金

	総額	児童生徒一人当たり (23,501人)	【うち市の負担】
幼稚園・小・中学校	32億5,875万円	138,664円	83,401円

「学校給食」に、約33億円かかりました。
「児童生徒一人当たりの支出」でみると、約14万円になります。

③ 「消防・救急」

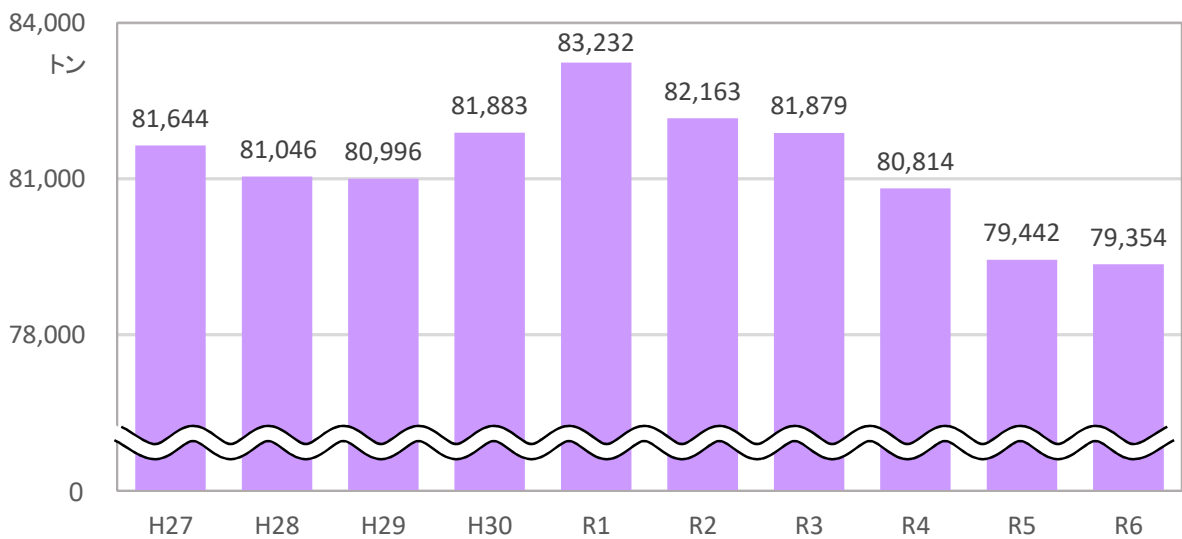
消防・救急にかかったお金

	総額	市民一人当たり (258,951人)	【うち市の負担】
消防・救急に係る費用	40億5,348万円	15,653円	14,041円
所有消防車	81台	火災件数	103件
所有救急車	11台	救急車出動件数	12,328件

「消防・救急」に、約41億円かかりました。
「市民一人当たりの支出」でみると、約1.6万円になります。

④ 「ごみの処理」

ごみの処理にかかったお金



	つくば市全体	市民一人当たり (258,951人)	
可燃ごみ	67,737トン	262キロ	
不燃ごみ・粗大ごみ	4,473トン	17キロ	
資源ごみ	7,144トン	28キロ	
合計	79,354トン	306キロ	
<hr/>			
	総額	市民一人当たり (258,951人)	【うち市の負担】
処理費用	27億1,836万円	10,498円	7,624円

「ごみの処理」に、約27億円かかりました。
 「市民一人当たりの支出」で見ると、約1万円になります。

⑤ 「福祉」「医療」「介護」

福祉・医療・介護をささえたお金

	総額	市民1人当たり (258,951人)	(うち市の負担)
【高齢者の福祉】にかかったお金 高齢者のいきがい・健康づくりなど	28億3,083万円	10,930円	9,840円
【障害者の福祉】にかかったお金 障害福祉サービス・補装具の援助など	73億6,493万円	28,442円	16,076円
【高齢者の医療】にかかったお金 後期高齢者医療制度の推進など	24億2,302万円	9,357円	8,185円
【医療福祉（マル福）】にかかったお金 小児、妊産婦などに対する医療費の補助	21億7,213万円	8,388円	5,244円
合計	147億9,046万円	57,117円	39,345円

「高齢者の福祉」や「障害者の福祉」などに、約148億円かかりました。
「市民1人当たりの支出」でみると、約5.7万円になります。

★特別会計からみた「福祉」「医療」「介護」

	つくば市全体		
国民健康保険	118億7,233万円	被保険者1人当たり (40,300人)	294,599円
後期高齢者医療	29億2,641万円	被保険者1人当たり (26,660人)	109,768円
介護保険	132億3,518万円	認定者1人当たり (8,230人)	1,608,163円
合計	280億3,392万円		

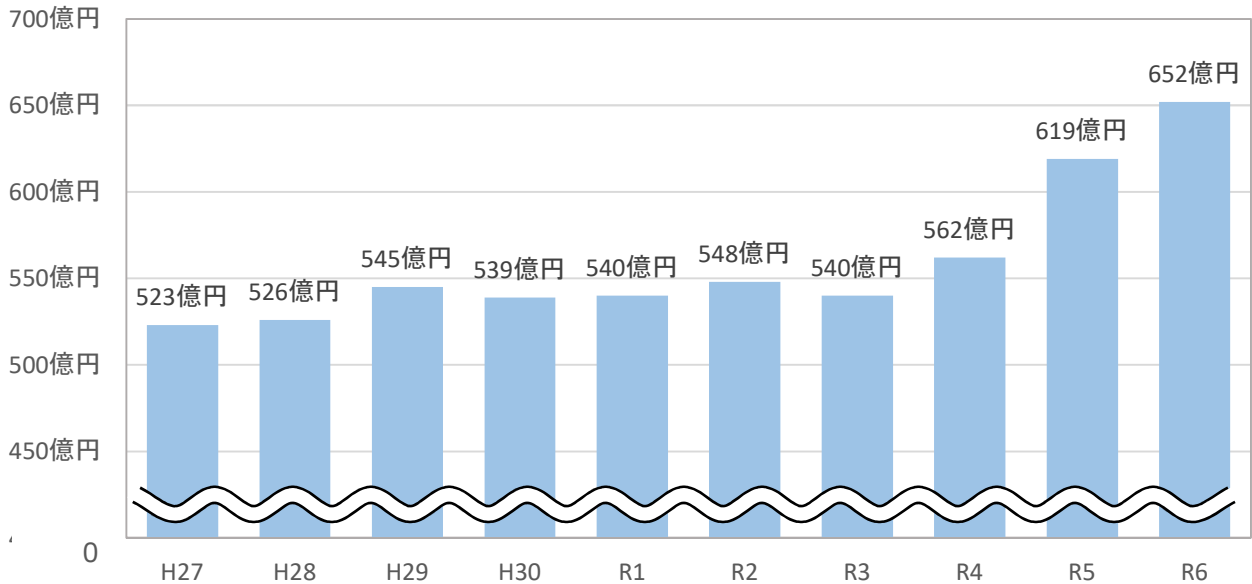
一般会計とは別に「特別会計」においても「福祉」「医療」「介護」にお金が使われています。令和6年度は、医療費や介護サービスなどのうち、保険で支払われる分として、約280億円が使われました。

なお、特別会計については、11ページからの特別編も御覧ください。

5 借金と貯金の残高

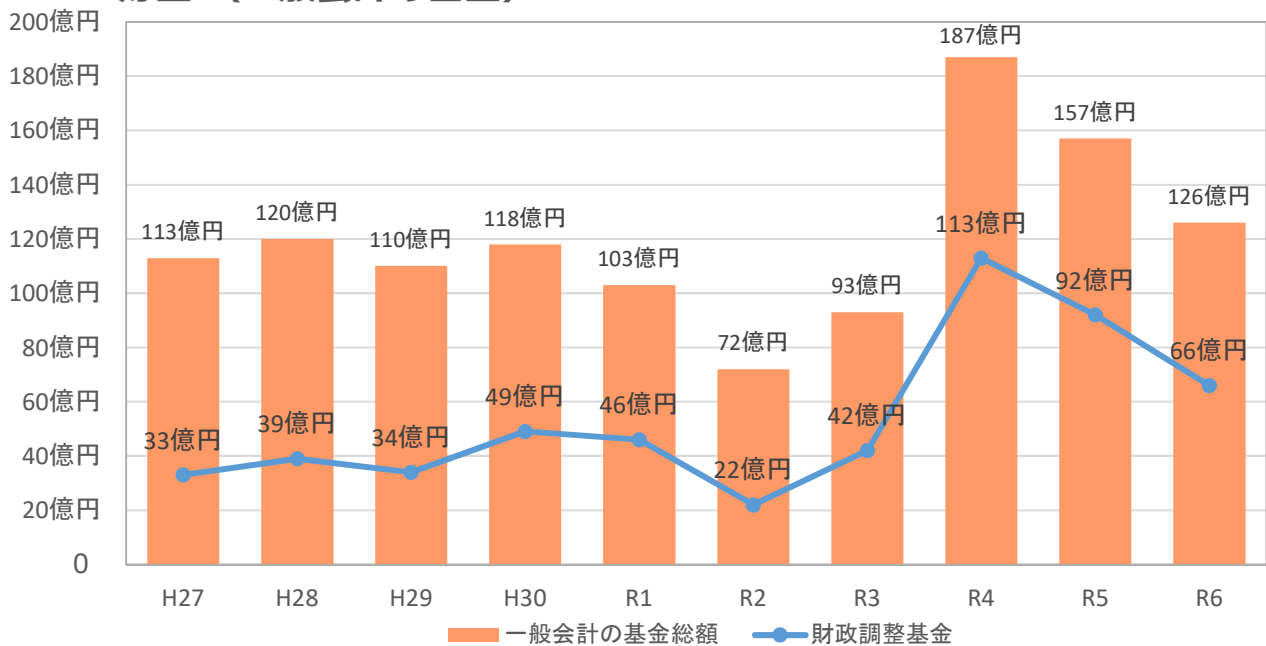
つくば市の借金（市債）は652億円あります。
市民一人当たり251,790円となっています。

借金（市債）



つくば市の貯金（一般会計の基金）は126億円あります。
市民一人当たり48,821円となっています。

貯金（一般会計の基金）



6 財政健全化の比率

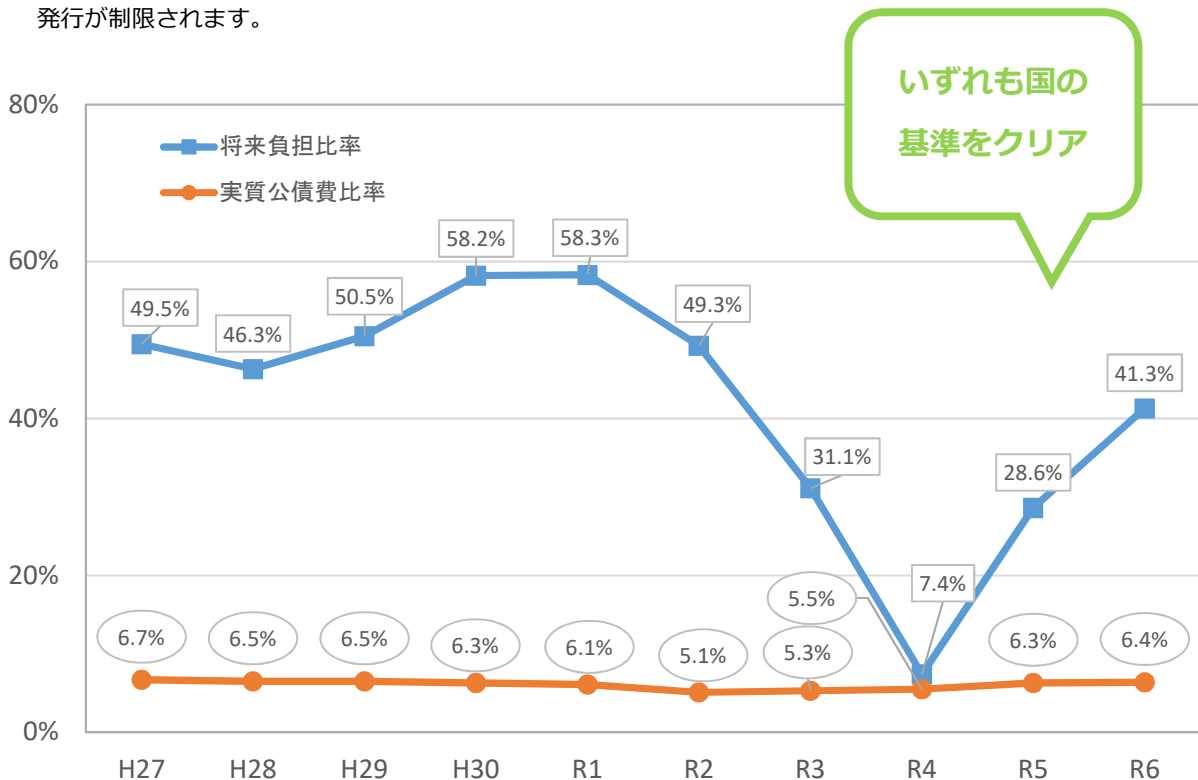
つくば市の財政は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められている5つの指標について、いずれも国の定める基準をクリアしています。

将来負担比率が大きく減少した要因は、財政調整基金を多く積み立てたためです。

	つくば市	国の定める基準	
		早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率			
財政規模に対する 福祉や教育など一般会計の赤字割合	－ (黒字)	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率			
財政規模に対する全会計の赤字割合	－ (黒字)	16.25%	30.00%
実質公債費比率			
財政規模に対する借入金返済割合	6.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率			
財政規模に対する将来の借入金返済割合	41.3%	350.0%	－
資金不足比率			
営業収益に対する各公営企業の資金不足割合	－ (資金不足なし)	20.0%	－

※1 早期健全化基準を超えると、財政健全化計画を策定し、議会の議決後、公表しなければなりません。

※2 財政再生基準を超えると、財政再生計画を策定し、議会の議決後、公表しなければなりません。また、市債の発行が制限されます。

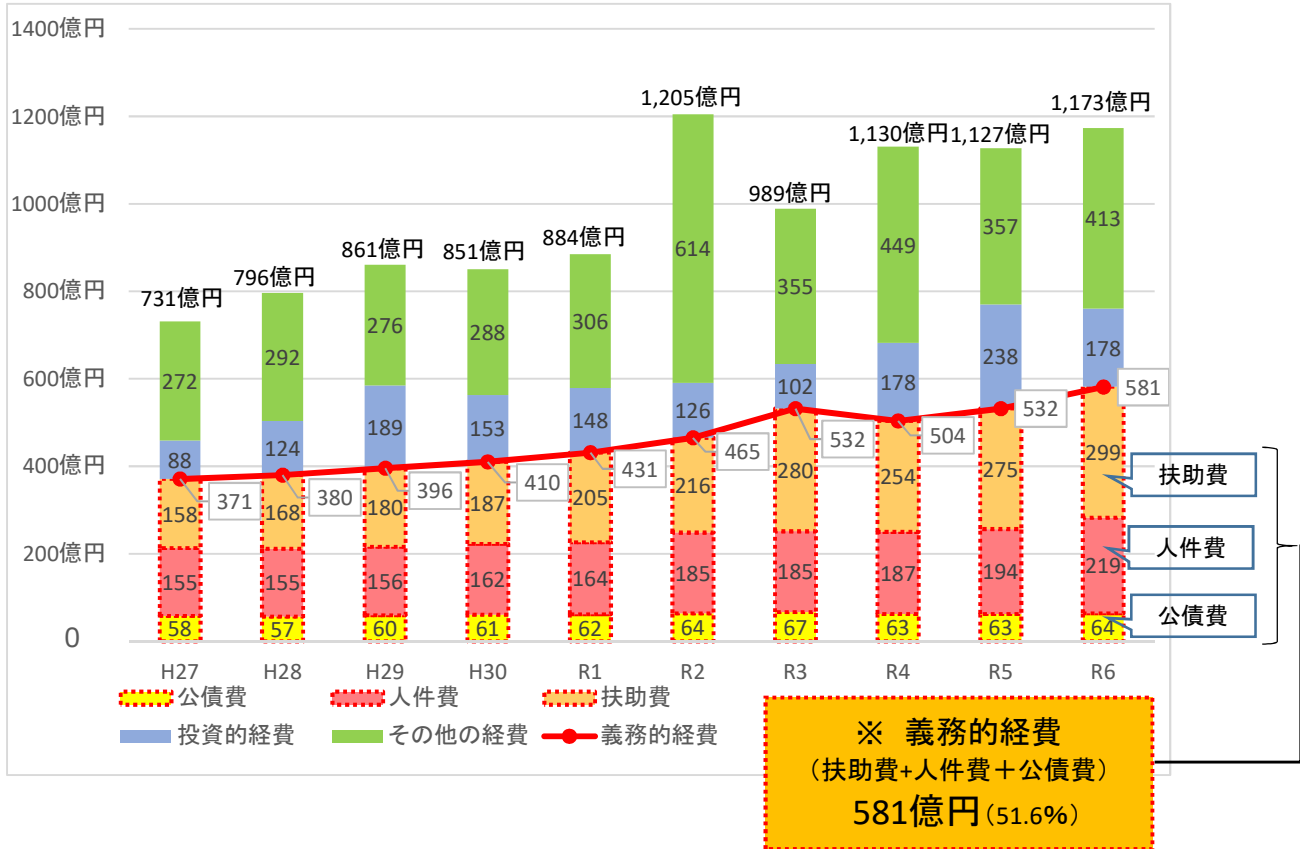


7 一般会計決算額と税収の推移

一般会計決算額（性質別）の推移

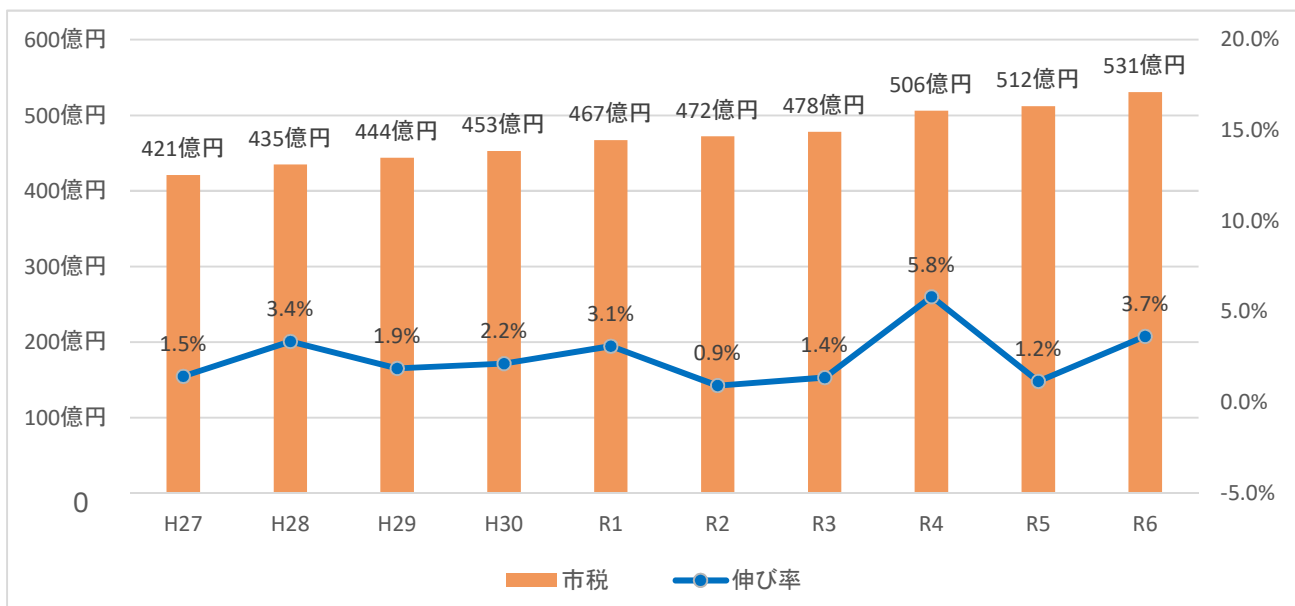
義務的経費の金額が大きくなってきています。中でも、特に扶助費が増加傾向にあります。

※令和2年度の大幅な増加は、一人当たり10万円を給付した特別定額給付金により『その他の経費（補助費等）』が大きくなったためです。



市税の税収額の推移

人口増加に伴い、市税も堅調に伸びています。10年間の平均伸び率は約+2.5%です。



特別編

つくば市の会計には、これまで説明してきた「一般会計」のほかに、「特別会計」と「公営企業会計」があります。「特別会計」と「公営企業会計」に対しては、一般会計から財政支援を行う場合があります。

8 特別会計

○特別会計の主な内容

国民健康保険特別会計

加入者が病気やけがのときの保険給付などを行っています。加入者の保険料などをもとに運営しています。

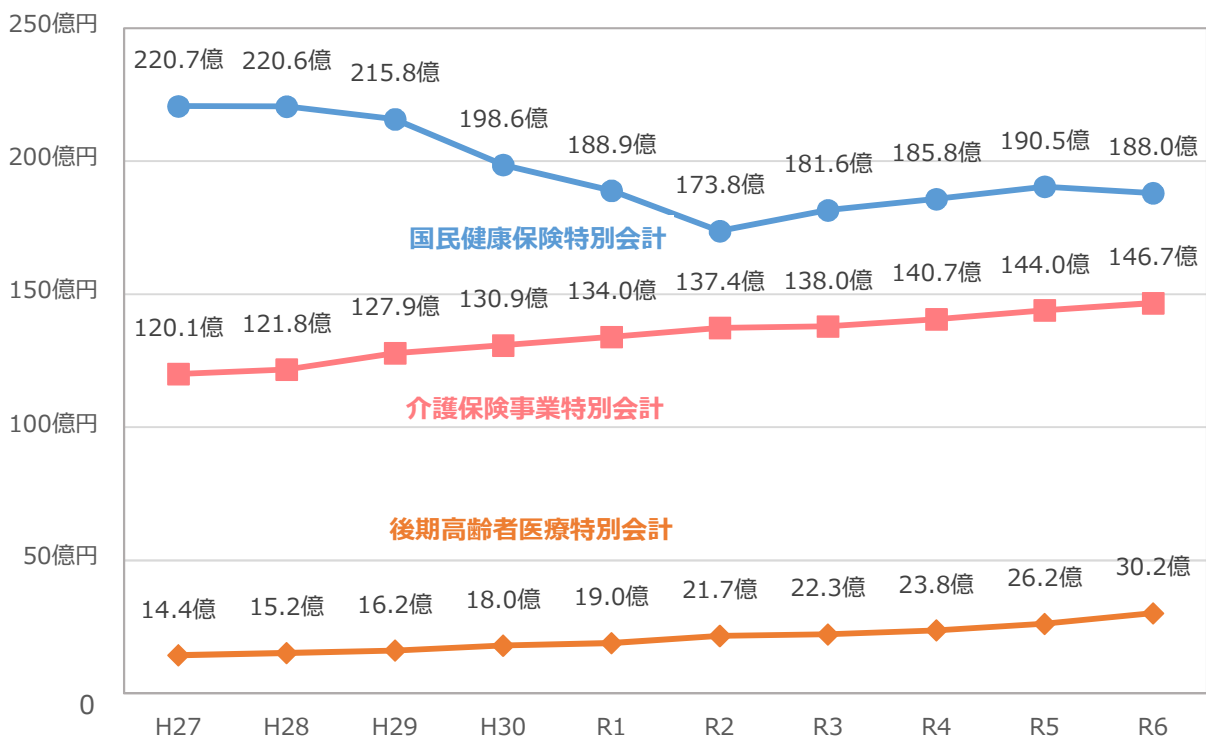
後期高齢者医療特別会計

保険料の徴収などを行い、茨城県後期高齢者医療広域連合へ納付しています。

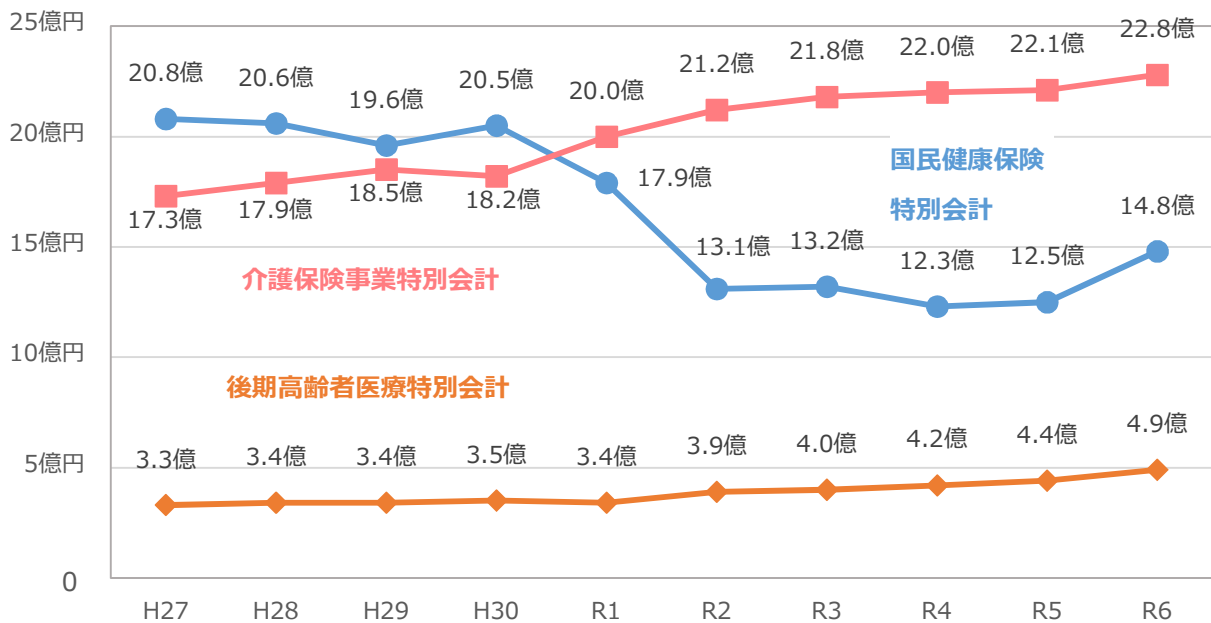
介護保険事業特別会計

介護認定者への介護サービスなどを行っています。加入者の保険料などをもとに運営しています。

特別会計の歳出決算額の推移



特別会計への繰出金の推移



9 公営企業会計

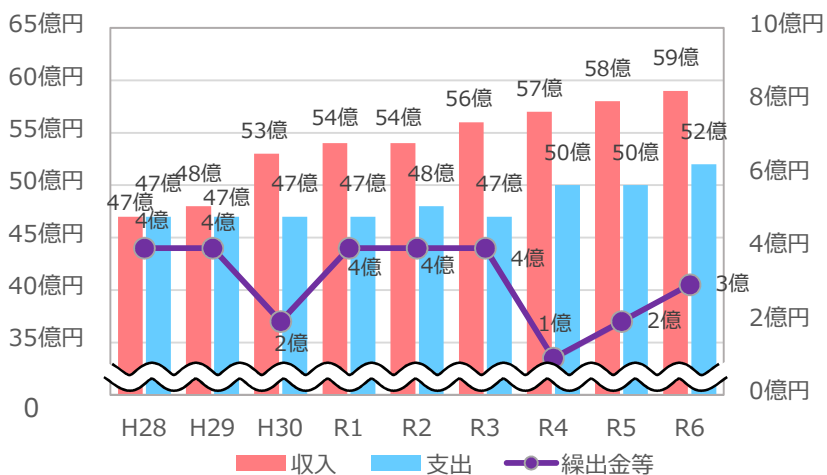
○公営企業会計の主な内容

水道事業会計

上水道の維持管理、整備などを行っています。水道の使用料などをもとに運営しています。

収入・支出・繰出金等の推移

水道事業会計



※平成30年度から水道の料金体系を改定したため、収入が増加しました。

下水道事業会計

下水道の維持管理、整備などを行っています。下水道の使用料などをもとに運営しています。

※令和2年度から、公営企業会計へ移行しました。

収入・支出・繰出金等の推移

下水道事業会計

